

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25 - 123

補助事業名 平成 25 年度 航空機工業の国際標準化推進に関する補助事業

補助事業者名 一般社団法人日本航空宇宙工業会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

現在、航空機では欧米が主体となっているが、そこへ積極的に世界に我が国の技術を売り込むため、共通基盤としての委員会がある ISO/TC20 及びその下部組織の ISO/TC/SC1,9,10 及び IEC/TC107 に我が国は積極的に参加し、我が国の意見を反映させる。これは、欧米のデファクト戦略に対抗するためにも重要である。具体的には上記 ISO 及び IEC から回付されてくる規格案・規格見直しなどに対して、我が国の産業界等の意見を取りまとめ、国際規格回答原案を作成・投票・国際会議への参加を行う。これを以て機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① 国際会議への参画

- ・ ISO/TC20 「航空機および宇宙機」総会出席 (SJAC 藤貫)
平成 24 年 11 月 19 日～20 日ベルリン (ドイツ)
- ・ ISO/TC20/SC1 「航空宇宙電気系統」委員会出席 (IHI 廣西、KHI 木村、MHI 相川、シンフォニア太田、SJAC 藤貫)
平成 24 年 6 月 10 日～13 日チズウィック (イギリス)
- ・ ISO/TC20/SC9 「航空貨物及び地上機材」委員会出席 (ANA OB 安倍、SJAC 藤貫)
平成 24 年 22 日～24 日ストックホルム (スウェーデン)
- ・ ISO/TC20/SC10 「航空宇宙用流体系統」委員会出席 (櫻護謨松井、SJAC 藤貫) 平成 24 年 9 月 1 日～4 日モスクワ (ロシア)



会議：モスクワ

- IEC/TC107 「航空用電子部品のプロセスマネジメント」 総会出席
(日立 伊部、SJAC 藤貫)
平成 24 年 10 月 14 日～16 日 ツールーズ (フランス)

② SJAC 委員会等の開催及び投票状況

- ISO/TC20 (航空規格戦略検討委員会)
平成 24 年 8 月 5 日、平成 25 年 3 月 7 日、計 2 回開催
規格投票 51 件
- ISO/TC20/SC1
平成 24 年 5 月 20 日、10 月 11 日、12 月 11 日、平成 25 年 1 月 24 日、計 4 回開催
規格投票 16 件
- ISO/TC20/SC9
平成 24 年 5 月 29 日、10 月 4 日、12 月 19 日、計 3 回開催
規格投票 19 件
- ISO/TC20/SC10
平成 24 年 6 月 28 日、9 月 27 日、平成 25 年 1 月 14 日、計 3 回開催
規格投票 14 件
- IEC/TC107
平成 24 年 6 月 24 日、8 月 7 日、9 月 30 日、平成 25 年 2 月 5 日、計 4 回開催
規格投票 10 件

③ SJAC 会報誌による広報

- 航空と宇宙 平成 25 年 7 月号にて
「ISO/TC20/SC1 「航空宇宙電気系統」 第 37 回ロンドン国際会議報告」
<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/201307/20130707.pdf>
- 航空と宇宙 平成 25 年 10 月号にて
「ISO/TC20/SC10 「航空宇宙流体系統」 第 39 回モスクワ国際会議報告」
<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/201310/20131006.pdf>
- 航空と宇宙 平成 26 年 3 月号にて
「IEC/TC107 「航空用電子部品のプロセスマネジメント」、ISO/T20 「航空機及び宇宙機」、ISO/TC20/SC9 「航空貨物および地上機材」 国際会議報告」
<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/201403/20140304.pdf>

2. 予想される事業実施効果

国際標準化活動への参画は、我が国の優位が確保できるよう或いは不利とならないようにする為に、継続的に行う必要がある。そのためには、継続的な国際回答原案作成、投票活動の実施、継続的な国際会議の出席が必須となる。特に航空機分野では、我が国は後発の立場であるため、欧米に比べ手順を踏んで主張をしないと理解をしてもらえず、提案が採用されない。そのためにも積極的な活動が重要である。

これらの活動について、TC20 関連すべての国際会議及び TC107 国際会議への出席の達成及び投票活動の実施を行うことが出来、目標は達成できた。

また、各々の会議に於いて、我が国での問題点の提示及び規格への反映を進め、特に ISO/TC20/SC1 では 1 件の国際規格発行（ISO 13832:2013 「銅クラッドアルミ、アルミ電線の一般性能要求に関する規格」）、及び WG3(我が国がコンビナー)にて ISO/FDIS 27027 「半導体電源遮断器の一般要求に関する規格」が承認され発行を待つのみとなった。加えて新規 WG15"LED Power light"が設定され、我が国がコンビナーとなりあらたな「LED タキシー灯」に関する設計・計測規格の制定を目指すことになった。

IEC/TC107 では PT62396 「空中放射線」において、新たな線源である陽子、ミュオンなどのについても考慮が必要であることを指摘し、これに基づき新規規格制定を進めることで合意し、リーダーを我が国が務めることになった。これからも活動に参画することで日本の航空産業界として世界に引き続き貢献する。

3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： (一社) 日本(ニホン)航空(コウクウ)宇宙(ウチュウ)工業会(コウギョウカイ)

住 所： 〒107-0052 (半角)

東京都港区赤坂1丁目1番14号

代表者： 会長 ^{ムラヤマ} 村山 ^{シゲル} 滋

担当部署： ^{ソウムブ} 総務部

担当者名： 部長 ^{オオノ} 大野 ^{ジュン} 潤 電話番号：03-3585-0511

F A X : 03-3585-0541

E-mail : j-ono@sjac.or.jp

U R L : <http://www.sjac.or.jp>